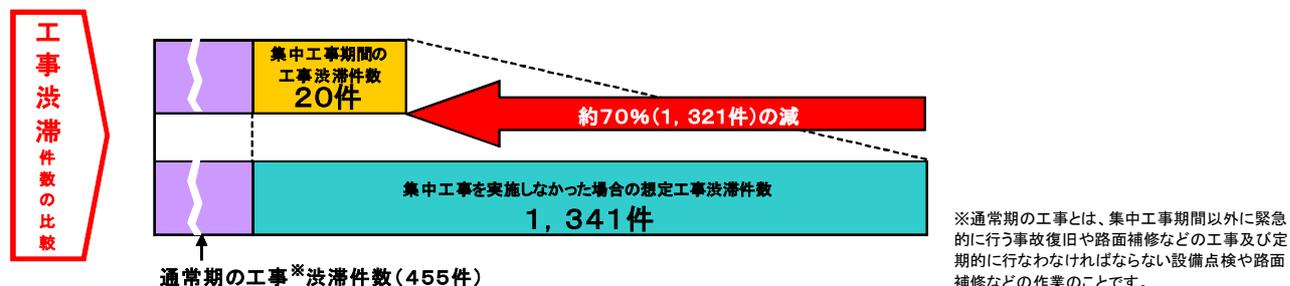


## 1. 集中工事とは

集中工事とは、道路を管理するうえで必要な工事を比較的交通量が少なく天候が安定している時期に短期間に昼夜連続してまとめて行うものです。これにより工事の集約化が図れるため、年間の工事規制回数や工事に伴う渋滞発生回数を大幅に減らせるメリットの多い工事方法です。なお、東名高速道路では、昭和63年度に導入し、今回で24回目になります。



## 2. 主な工事の内容

東名高速は供用して40年以上が経過し、アスファルト舗装や構造物の老朽化による損傷が顕在化しています。工事の実施により、安全で信頼性の高い道路を目指します。

### ○舗装補修工事

舗装面の凹凸やひび割れなどを修復する舗装工事を実施します。



### ○防護柵改良工事

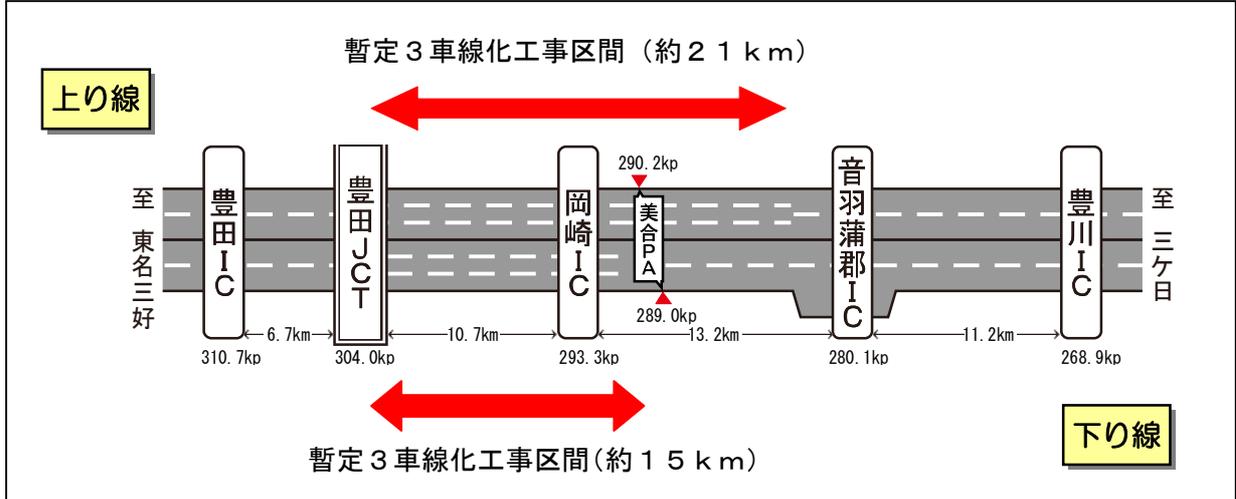
反対車線への飛び出しなどの重大事故の発生を防ぐため、強度を増したガードレールへの取替えを実施します。



○音羽蒲郡IC～豊田JCT間 暫定3車線化工事

この区間では、朝夕の通勤時間帯やお正月・ゴールデンウィークなどに大規模な渋滞や渋滞に伴う事故が発生しています。これまで様々な対策を実施してきましたが、さらなる対策として、新東名高速道路完成までの間、暫定的に3車線で運用するための工事を行います。

○平面図



○断面図

